

問1 政府が実施する「規制緩和」の目的とその影響について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2021年 秋田県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 企業間の自由な競争を促すことで、経済を活性化させ、サービスの質向上や価格低下を図る。 | 2. 道路やダムなどの社会資本を整備することで、公共の利益を増進させ、雇用の安定を図る。 | 3. すべての公共サービスを公的な機関が管理・運営するようにし、提供価格の一律化を図る。 | 4. 特定の産業を保護するために行政が強く介入し、外国製品の流入を制限して国内企業を守る。 |
|---|--|--|---|

問2 消費者の権利を保護するための制度について、製造物責任法（PL法）が導入された背景や仕組みを説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2022年 香川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 消費者の自立を支援し、行政や企業の責務を明らかにすることで、消費者政策の基本方針を示した法律。 | 2. 一定の期間内であれば、違約金を支払うことなく無条件で契約を解除できるようにすることで、強引な勧誘から消費者を守る仕組み。 | 3. 資源の有効な利用を促進するため、使い終わった製品の回収や再資源化をメーカーや消費者に義務づけた法律。 | 4. 製品の欠陥で被害が生じた際、消費者が企業の過失を証明する負担を軽減し、製品自体の問題点を証明することで損害賠償を求められるようにした制度。 |
|--|---|---|--|

問3 ある年の為替レートを比較した際に、7月末は1ドル＝103円であったが、12月末には1ドル＝121円となった。この期間にアメリカから100ドルの商品を輸入し、日本円で支払う場合の変化を説明したものとして、正しいものはどれか。 (2016年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 12月末の支払額は10,300円となり、7月末に比べて円高が進んだことで輸入価格が安くなった。 | 2. 12月末の支払額は10,300円となり、7月末に比べて円安が進んだことで輸入価格が安くなった。 | 3. 12月末の支払額は12,100円となり、7月末に比べて円高が進んだことで輸入価格が高くなった。 | 4. 12月末の支払額は12,100円となり、7月末に比べて円安が進んだことで輸入価格が高くなった。 |
|--|--|--|--|

問4 「生産者 → 卸売業者 → 小売業者 → 消費者」という一般的な流通経路に対し、昨今では「生産者 → 小売業者 → 消費者」のように経路を短縮する工夫が見られます。この「流通の合理化」が消費者に与えるメリットとして、適切な記述はどれですか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 卸売業者が商品を厳選する工程が増えるため、商品の品質がより安定すること。 | 2. 商品が消費者の手元に届くまでの段階が増え、多くのサービスを受けられること。 | 3. 仕入れコストが削減されることで、商品の販売価格が低下する傾向にあること。 | 4. 生産者の広告費が卸売業者によって肩代わりされ、ブランド力が高まること。 |
|---|--|---|--|

問5 コンビニエンスストアやスーパーマーケットのレジにおいて、商品のバーコードを読み取ることで、「どの商品が」「いつ」「何個」売れたかという販売情報をリアルタイムで把握し、在庫管理や商品開発に役立てる仕組みを何といいますか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------|--------------|----------------------|--------------|
| 1. ICタグによる自動検品 | 2. キャッシュレス決済 | 3. POSシステム（販売時点情報管理） | 4. 電子商取引（EC） |
|----------------|--------------|----------------------|--------------|

問6 日本の輸出企業にとって、円安が進むことで得られる主なメリットとして、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 海外で販売した商品の代金を円に換算した際、受け取る金額が増える。 | 2. 海外から原材料や燃料を輸入する際のコストが低下し、生産効率が上がる。 | 3. 日本国内の物価が全体的に下落し、労働者の実質的な賃金が上昇する。 | 4. 日本円の国際的な信用が高まり、海外への投資が容易になる。 |
|-------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|

問7 市場における価格の決まり方について、現在の価格が「均衡価格」よりも高い水準にある場合に生じる現象として、正しい説明はどれか。 (2021年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 需要量が供給量を上回る「超過需要」の状態となり、品不足を解消するために価格が上昇していく。 | 2. 少数の大企業が価格を支配する「独占価格」の状態となり、需要量に関わらず価格が高止まりする。 | 3. 政府が価格を決定する「公共料金」として扱われるようになり、需要量と供給量のバランスは無視される。 | 4. 供給量が需要量を上回る「超過供給」の状態となり、売れ残りを解消するために価格が下落していく。 |
|--|--|---|---|

問8 市場経済において、価格の自動調節機能により需要量と供給量が一致に向かう理由の説明として最も適切なものを選びなさい。 (2025年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 価格が上がると需要量が増えて供給量が減り、価格下がると需要量が減って供給量が増えるため。 | 2. 価格が上がると需要量と供給量の両方が増え、価格下がると両方が減るため。 | 3. 価格が上がると需要量が減って供給量が増え、価格下がると需要量が増えて供給量が減るため。 | 4. 政府が需要量と供給量の変動を監視し、常に一致するように価格を修正しているため。 |
|---|--|--|--|

問9 外国為替市場において、それまで1ドルを交換するのに90円を必要としていた状態から、100円を必要とする状態に変化した。このように、外国の通貨に対して日本円の価値が低くなる現象を何というか。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|-------------|------------|
| 1. 円安 | 2. 円高 | 3. インフレーション | 4. デフレーション |
|-------|-------|-------------|------------|

問10 消費者が店舗以外の場所で突然の訪問販売や電話勧誘を受けた際、冷静な判断ができずに契約を結んでしまうことがあります。このような場合に、契約後でも一定期間内であれば、消費者が理由に関わらず一方的に契約を解除できる制度を何といいますか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------|-----------|----------------|-----------|
| 1. クーリング・オフ制度 | 2. 消費者基本法 | 3. 製造物責任法（PL法） | 4. 消費者契約法 |
|---------------|-----------|----------------|-----------|

問11 市場経済において、商品の需要量に対して供給量（入荷量）が大幅に増加した場合、その商品の価格は一般的にどのように変動しますか。その変化と理由の組み合わせとして適切なものを選択してください。 (2016年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 商品の希少性が下がり、買い手が見つかりやすくなるよう価格が下がる | 2. 商品の需要が供給を上回る状態になるため、価格が下がる | 3. 商品の希少性が上がり、より高い利益を得るために価格が上がる | 4. 商品の生産コストが下がるため、それに応じて価格が上がる |
|-------------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|

問12 日本の企業が生産拠点を日本国内から海外へ移転させた場合、日本国内の経済に与える影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 国内の企業の国際競争力が失われ、貿易赤字が恒常的に発生し続ける。 | 2. 国内の生産活動が衰退し、工場働く人々の雇用の機会が減少する。 | 3. 外国製品の輸入が大幅に制限され、国内の自給率が向上する。 | 4. 労働力が製造業に集中し、第三次産業から第二次産業への移行が進む。 |
|-------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|

問13 秋田県の特産品である「きりたんぼセット」のラベルに、税込価格1,080円と表示されています。この商品の消費税率が8%であるとき、消費税が課される前の「本体価格」として正しい金額はいくらですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 920円 | 2. 1,000円 | 3. 1,080円 | 4. 1,166円 |
|---------|-----------|-----------|-----------|